



鹿児島県立

農業大学校

College Guide 2026



養成部門

農学部

野菜科 花き科 茶業科 果樹科

畜産学部

肉用牛科 酪農科 養豚科

研究部門

農学部

農業研究科

畜産学部

畜産研究科



鹿児島県立農業大学校

〒899-3311鹿児島県日置市吹上町和田1800 TEL (099) 245-1071 FAX (099) 296-6352

鹿児島農大

検索



鹿児島県立農業大学の概要

校訓

自立 | 実践 | 協調

設置目的

農業に関する高度な知識や技術を習得させ、次代の農業及び農村を担う優れた青年農業者及び農村地域の指導者等を育成します。

学校の魅力

1

豊かな自然に囲まれた 広大なキャンパス

(東京ディズニーランドの2/3の大きさ)

2

充実した施設

(寮は全室個室、バス・トイレ、冷暖房完備)



講堂



パソコン室



学生寮



食堂



図書室



農業研修館



寮(個室)

3

多様な進路選択

自営就農、農業法人、農業団体・農業関連企業、公務員、
進学(研究科、4年制大学3年次編入)など ※5ページ参照



養成部門

農業及び農村生活に関する高度な知識及び技術を習得させ、
次代の農業及び農村を担う優れた農業者及び農村地域の指導者を育成します。

▼ 教育の特徴

- プロジェクト学習を基本とした実技と理論の総合的な実践学習
- 専攻学習、農家留学研修(2年次)等の実習科目の充実
- 試験研究機関等と連携した最新技術教育の実施
- 就農・就業相談会や現地研修等の実施による就農促進教育の実施
- 全寮制のもと、自治会活動や課外活動を通じた自立と協調性を備えた人材の養成
- 農業経営に必要な資格、免許等の積極的な取得支援

▼ 卒業時の特典及び支援制度

- 卒業生は「専門士(農業専門課程)」と称することができます。
- 卒業生は4年制大学への編入学の資格を取得できます。
- 卒業生は国の機関等に就職した場合、短大卒と同等に取り扱われます。
(人事院規則9-8)
- 国の就農準備資金の交付対象となります。
- 日本学生支援機構等の奨学金制度を利用できます。

▼ 定員

学部	学科	定員
農学部	野菜科	35名
	花き科	10名
	茶業科	15名
	果樹科	10名
	計	70名
畜産学部	肉用牛科	25名
	酪農科	10名
	養豚科	10名
	計	45名
合計		115名

▼ 学生が取得を目指す資格等

共通

大型特殊自動車及びけん引免許(農耕車限定)、農業機械士、フォークリフト運転技能講習修了証、玉掛け技能講習修了証、小型移動式クレーン運転技能講習修了証、小型車両系建設機械特別教育修了証、アーク溶接特別教育修了証、刈払機安全衛生教育修了証、チェーンソー特別教育修了証、日本農業技術検定(1級、2級、3級)、農業簿記検定(1級、2級、3級)、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、食品衛生責任者養成講習修了証等

農学部

ボイラー取扱技能講習修了証、フラワー装飾技能士(3級)、園芸装飾技能士(3級)、日本茶アドバイザー、日本茶インストラクター、土壌医検定

畜産学部

家畜人工授精師免許、2級認定牛削蹄師、家畜商免許

※大型特殊自動車及びけん引免許(農耕車限定)取得のため、入学前に普通自動車免許以上の取得(オートマ限定不可)が必要。また、準中型免許の取得が望ましいです。

▼ 授業等に必要経費(令和7年度)

区分	金額
入学料	5,650円
授業料	118,800円
寮・学習経費	500,000円
合計	624,450円

▼ 給食費(参考年額)

区分	金額
学生食堂	304,500円

※1日あたり(3食)1,500円

農学部

鹿児島県の野菜・花き・茶業・果樹経営に必要な高度な知識及び栽培技術を学びます。
農産物の生産・加工・販売を通じて、生産の喜びや消費者の動向を体験的に学びます。

野菜科



野菜科の取組

▽ 県内主要品目を中心に、基本技術や最新技術、経営について学びます



- 施設栽培では学生一人がハウス1棟を担当し、基本技術・最新技術を習得
- 露地栽培ではアシスト機能付きトラクタなどを活用して多くの野菜の栽培技術を習得
- 座学や専攻実習を通じて基本技術や最新技術を習得
- 生産物の直接販売を通じて消費者動向を把握し生産の喜びを体験
- 市場や先進農家等の視察研修、GAPの取得等を通じて、農業経営者として必要な知識、技術及び経営感覚を習得

主な栽培品目

トマト、いちご、ピーマン、なす、きゅうり、メロン、豆類、ブロッコリー、はくさい、キャベツ、根深ねぎ、だいこん、ばれいしょ、さつまいも(JGAP 認証) 等
施設：4,800 m²、露地：145a

花き科



花き科の取組

▽ 切り花・鉢物・苗物等の栽培技術、経営、フラワーデザイン等について学びます



- 県内主要品目や学生の希望する品目を中心に、基本技術、最新技術を習得
- 講義にフラワーデザインを取り入れ、花装飾の基本技術やセンスアップを実施
- 市場や先進農家等の視察研修を通じて、農業経営者としての必要な知識、技術及び経営感覚を習得

主な栽培品目

スプレーギク、輪ギク、ユリ類、カーネーション、トルコキキョウ、ポインセチア、シクラメン、観葉植物、苗物(マリーゴールド、パンジー、プリムラ) 等
施設：2,300 m²

茶業科



茶業科の取組

▽ 茶の生産・製造に必要な実践的な技術について学びます



- ロボット摘採機等を用いた先進的な栽培技術を習得
- てん茶等多様な茶種の製造について、農業開発総合センター茶業部で実習
- 茶の見聞や知識を広げるための茶道実習や日本茶インストラクター資格の取得

主な栽培品目

ゆたかみどり、やぶきた、おくみどり、むさしかおり 等
70a

果樹科



果樹科の取組

▽ 常緑果樹や落葉果樹、熱帯果樹の生理生態及び栽培方法を学びます



- 県内主要品目を中心に常緑果樹、落葉果樹、熱帯果樹の基本技術の習得
- 生産物の直接販売を通じて消費者動向を把握し生産の喜びを体験
- 市場や先進農家等の視察研修、GAPの取得等を通じて、農業経営者として必要な知識、技術及び経営感覚を習得
- 新品種特性の把握及び果樹苗の増殖法の取得
- 付加価値を高めるための6次産業化への取り組み

主な栽培品目

露地温州、大将季、ボンカン、キンカン、KC-5、ブドウ、ナシ、ブルーベリー、ウメ、マンゴー(K-GAP 認証)、パッションフルーツ(JGAP 認証)、アボカド 等
施設：2,900 m²、露地：26a

畜産学部

肉用牛、乳牛及び豚の飼養管理や経営に関する高度な知識及び使用管理技術を学びます。
JGAP (家畜・畜産物) 手法に基づく経営管理技術と実践法を学びます。

肉用牛科



肉用牛科の取組

▽ 将来の肉用牛経営を担う、即戦力として活躍できる人材を育てます



- 子牛生産、肥育に関する知識や技術の習得
- ICT活用による個体管理・技術経営管理等の習得
- 人工授精及び体内受精卵等の回収・移植技術の習得
- 飼料作物の栽培利用に関する技術習得

【班編成】生産班…人工授精及び受精卵移植等を行った生産技術を習得
子牛班…健全な子牛育成技術の習得
肥育班…肉質向上技術の習得

飼育頭数 (R7.12.1現在)

生産牛45頭、子牛20頭、肥育牛42頭 計107頭

酪農科



酪農科の取組

▽ JGAPの取組を実践的に習得させることで、酪農業界で即戦力として活躍できる人材を育てます



- 乳牛の飼育管理技術の習得
- 乳牛の受精卵移植, 人工授精等の技術習得
- ICT活用による個体管理・技術経営管理等の習得
- 乳製品加工技術の習得

【班編成】搾乳班…朝夕の搾乳管理
育成班…子牛のほ乳、分娩牛管理
飼料班…牛舎清掃やエサづくり、エサの管理
繁殖班…人工授精、受精卵移植などの繁殖管理

飼育頭数 (R7.12.1現在)

経産牛15頭、育成牛、子牛9頭 計24頭等
1年間平均生乳出荷量 約8,000kg/頭

養豚科



養豚科の取組

▽ 養豚業界で即戦力として活躍できる人材を育てます



- 鹿児島黒豚及び3元大型種等の飼育管理技術の習得
- 養豚経営に必要な配合飼料や生産技術の習得
- 養豚施設の維持補修に係る溶接や配管等の技術の習得
- 6次産業化をテーマとした豚肉の販売、加工技術の習得
- アニマルウェルフェアを目指した豚の飼養管理技術の習得

【班編成】生産班…人工授精等を用いた生産技術の習得
子豚班…健全な子豚育成技術の習得
肥育班…肉質向上技術の習得

飼育頭数 (R7.12.1現在)

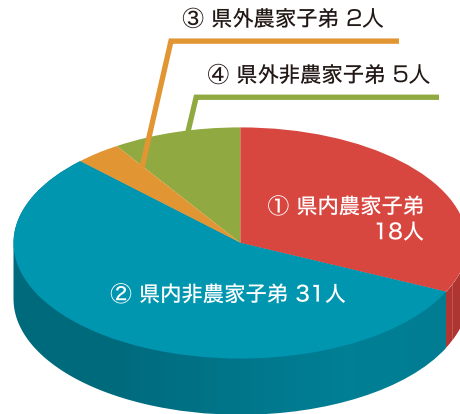
母豚13頭、種雄豚4頭、ほ乳子豚9頭、子豚6頭、肥育豚42頭 計74頭

▽ 2年間の教育計画 実践教育が充実 (1年6月~2年5月)

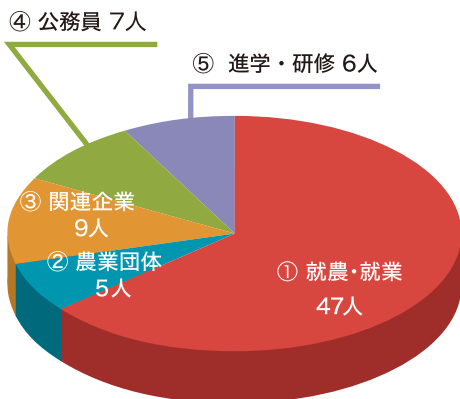
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	入学	講義など	プロジェクト計画検討 農場引継	講義、各種資格取得など								
	プロジェクト学習を踏まえた 農場での専攻学習 (2年次6月頃迄)											
2年生	講義など	就農・就業 相談会	農場引渡し	講義、各種資格取得	農家留学研修	先進地研修など						卒業
	専攻学習	校内発表会	九州発表会	全国発表会	プロジェクト実績まとめ							

入学者の担い手子弟別 (令和6年度入学生)

① 県内農家子弟	18人
② 県内非農家子弟	31人
③ 県外農家子弟	2人
④ 県外非農家子弟	5人



卒業後の進路



進路状況 (令和7年度卒業生、養成74人)

- ① 就農・就業 : 47人 (64%) (自営12人、農業法人35人)
- ② 農業団体 : 5人 (7%) (さつま日置農業協同組合、鹿児島いずみ農業協同組合、鹿児島さもつき農業協同組合、JA鹿児島県経済連優良種苗センター、(公)日本食肉格付協会)
- ③ 関連企業 : 9人 (12%) (鹿児島中央青果(株)、いわさきグループ(2)、ヤンマーアグリジャパン(株)(2)、(株)JA食肉かごしま(2)、南日本くみあい飼料(株)、シャン・ド・フルール)
- ④ 公務員 : 7人 (9%) (いちき串木野市役所、鹿屋市役所(2)、東串良町役場、西之表市役所、兵庫県香美町、鹿児島県)
- ⑤ 進学・研修 : 6人 (8%) (農業大学校研究科(5)、島根大学)

卒業生の声

農学部 野菜科 (平成29年度卒)



三宅 大毅さん

就業

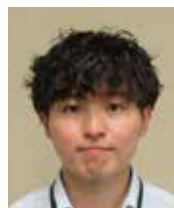
高槻電気工業(株) アグリ事業部

現在、フルーツマト栽培(60a)、モリンガの栽培・加工に従事しています。

業務は、作業の組み立てや人員のマネジメントをしています。

まず栽培植物の状態がどうか。また、スタッフの様子はどうか。など、常に周囲の様子や状態に気がかけて、異常があれば即対応できるようにしています。

農学部 花き科 (令和2年度卒)



白木 佑典さん

関連企業

鹿児島県経済農業協同組合連合会 園芸事業部 果樹花き課

非農家出身で農業(花き栽培)が好きなことから、JA鹿児島県経済連に就職。

業務は、県内の花の販売やJA指導員との連携、販売促進活動を実施。

仕事は、スピード感を大事にしています。また、笑顔で明るくいる人々と接して話しやすい雰囲気づくりコミュニケーションを取りやすいような環境づくりを心がけています。

畜産学部 肉用牛科 (平成29年度卒)



坂元 太一さん

自営

肉用牛農家・受精卵移植師

肉用牛40頭の繁殖及び250頭の預託経営心がけていることは、人も牛も事故ゼロを目指しております。

できるだけ働きやすい環境づくりを目指しており、支えてもらっている方々に感謝の気持ちを忘れないようにしている。



研究部門

高い実践力と柔軟な経営感覚を有する地域農業の中核となる担い手農業者や農村地域の指導者を目指す人材を育成します。

農業研究科・畜産研究科



研究科の取組

畜産研究科



農業研究科

教育の特徴

専攻及び専門に係る講義・演習・実習(経営計画演習、研究論文、専攻ゼミ)などにより各専攻の高度な農業技術を習得できます。

- 少人数の専攻ゼミ方式での演習や実習
- 試験研究機関や先進経営等における1年間の派遣研修を実施
- 高度な農業経営管理能力の習得及び最新農業技術の理解
- 地域農業・農村振興方策づくり等の習得
- 指導者・リーダーとしての資質向上

定員

学科	定員
農業研究科	10名
畜産研究科	10名

卒業時の特典及び支援制度

- 卒業生は「専門士(農業専門課程)」と称することができます。
- 卒業生は国の機関等に就職した場合、4年制大学卒業と同等に取り扱われます。(人事院規則9-8)
- 日本学生支援機構等の奨学金制度を利用できます。

授業等に必要な経費(令和6年度)

区分	金額
入 学 料	5,650円
授 業 料	118,800円
学 習 経 費 等	290,000円
寮経費(入寮者のみ)	80,000円

※給食費(希望者のみ)1日あたり1,500円

※寮への入居は希望者のみ

最近の進路状況(令和7年度卒業生)

公務員、農業法人、農業関連企業等

研修部門

農業大学校では、農業者等を対象に、新規就農のための実務研修や農業者等技能研修、農村生活課題解決のための研修のほか、農業理解促進等の各種研修を実施しています。

新規就農支援研修

農業基礎研修

- かごしま営農塾 入門コース(夜間塾)

農業技術研修

- かごしま営農塾 就農支援研修
- かごしま営農塾 実践コース

農業者研修

青年・女性農業者研修

- 青年農業士講座制研修
- 女性農業経営士養成研修

農業者等技術研修

農業機械化研修

- 農業機械利用技能研修(農業機械士養成、農業機械士応用、指導農業機械士養成)
- 農作業安全研修

農村生活課題解決研修

起業活動推進研修

- 農産加工基礎研修(入門、基礎、応用、実践)
- 畜産加工基礎研修(畜肉加工、乳加工)
- 加工技術リーダー研修

農村地域活性化リーダー育成研修

農業理解促進研修

小中高校生体験研修

一般県民向け研修

CAMPUS LIFE



@KAGONODAI



鹿児島農大HP



入学式

4月

5月

就農・就業相談会
オープンキャンパス

6月

プロジェクト計画発表会(1年生)

海外研修(2年生)

7月



校内体育大会



8月



オープンキャンパス

9月

プロジェクト実績発表会(2年生)
(畜産学部)(農学部:野菜科、花き科)

農家留学研修(2年生)

10月



農大祭



11月



九州地区農業大学校親善体育大会

12月

校内プロジェクト・
意見発表会

全国プロジェクト・
意見発表会・交換大会

2月

プロジェクト実績発表会
(2年生)
(農学部:茶業科、果樹科)
九州地区プロジェクト・
意見発表会



卒業式

3月

ACCESS

バス

(鹿児島交通)〈準急加世田行〉
金生町～天文館～鹿児島中央駅～
谷山駅経由「農業大学前」下車
所要時間 / 鹿児島中央駅から約80分

車

指宿スカイライン
「谷山インター」から
県道22号及び国道270号経由で約30分



鹿児島県立農業大学校は日置市吹上町にあります。



お問い合わせ

(鹿児島県農業開発総合センター内)

鹿児島県立農業大学校

〒899-3311 鹿児島県日置市吹上町和田1800

TEL (099) 245-1071 FAX (099) 296-6352